

坂の上通信

令和三年九月十五日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

コロナ関係 欠席者増

宣言延長に伴い、OSも延期

一学期が始まって3週間が経つが、学校全体の欠席者は以前より増加している。19の都道府県では今月末まで緊急事態宣言が延長され、予断を許さない状況が続いており、予定されていたオープンスクールも延期となった。

保健室の福島先生は「確かに欠席者は増えています。もともと長期休業明けは調子を崩して休む人が多いのですが、それに加えてワケチン接種や副反応で休んでいる人もいます。一学期に比べて1・5倍から2倍ほどでしょう。突然の休校などもありストレスや不安もあると思います。心配なことがあれば保健室やカウンセラーに相談してください」と話した。



全員前向きで、会話をせず食事をする生徒

学校の「顔」に インタビュー



今回は国語科の田中先生にお話を伺った。一な守国語の教師になったのですか。

高校の頃好きだった女の子が国語の教師になると言っていて、その

れで自分もなろうと思っていました。

趣味はなんですか。バンドを聞くことです。おすすめは「羊文学」です。映画(岬の岬のマヨイガ)の主題

歌で絶賛公開中です！

休日の過ごし方は、ギターを弾いています。最近よく弾く曲は菅田将暉やあいみょんの曲で、流行りの曲を弾きます。

美高生に一言。これから寒くなっていきますが、体調管理に気をつけて頑張ってくださいませ！

感染拡大防止のためのお願い

- ①毎日の検温を確実に行いましょう。
- ②体育の授業中や一人での登下校などの場合を除き、マスクはきちんと着用しましょう。
- ③自分自身、また家族に風邪症状(発熱・咳など)がある場合は、必ず自宅で休養し、身近な医療機関やコールセンターに相談しましょう。
- ④医療機関などでPCR検査が必要とされた場合は、学校に連絡し、結果が判明するまで登校は控えましょう。
- ⑥特別欠席・欠課申請書は早めに提出しましょう。HPからダウンロードできます。

全国総文開催 感染対策を徹底

9月11日に予定されていたオープンスクールは、10月9日に延期となった。担当の安立先生は「他校もなかなか実施できていないようですが、美高は中止ではなく延期にしました。実際に中学生に来てもらいたいですし、中学校側からも開催してほしいという声があります。当日は、美高のパワーを中学生に見せてください」と話した。

7月31日から8月6日の日程で、全国高等学校総合文化祭が行われた。今年度の会場は和歌山県。美高からは美術部、書道部、新聞文化部が参加した。

新聞部門では2年2組の川崎君と2年5組の谷本君が参加。県内各地を取材し交流新聞を作成したが、各班の机上にはしきりが設けられた他、一人ひとりに手指消毒用のフタ付き除菌シートが配付され、黙食を徹底するな

歌は世につれ

歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。

このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。今回は、英語科の西

アーティスト	山下達郎
曲名	土曜日の恋人

先生にコメントをお願いしました。

大学受験生だった頃、人気のあったお笑い番組「オレたちひょうきん族」のエンディング曲。生活時間の無駄を省き、勉強に専念していたが、この番組だけが何百点もあり、唾が落ちていました。今回は私が受賞して出場できましたが、私一人が頑張ったものではなく、周りの方々からの支えがあったからこそ掴み取ることができた賞だと感じました。後輩の皆さんは、目の前にある課題や練習を、焦らず1つずつクリアする姿勢を持ってください。県総文応援しています」と語った。

は楽しみで、夜の8時から1時間で、ご飯、テレビ、お風呂を完了させていた。番組終わりの8時50分頃、この曲が流れると、大学生になった自分を夢見ながら「さあ、勉強だ」と5分でお風呂を済ませて9時ジャストに机に向かい教材を開いた。今でもこの曲を聞くと、勉強が恋人だったあの頃が蘇る、とは言い過ぎだろうか。



新聞部門の様子。和歌山各地での研修取材と、交流新聞作成を行った。

編集後記

「できることを確実に」行っていきますよ。

美・鈴・鈴・鈴

8月27日から発令された緊急事態宣言が、今月末まで延期となった。やや感染者数は減ったものの、依然として高止まりの状況を考えてやむを得ない。ただ、コロナ関連の緊急事態宣言は今回で4回目。1回目の時のような緊張感は薄れ、国全体が麻痺している様子もうかがえる。▼緊急事態宣言は非常事態宣言とも呼ばれ、危険が迫っている有事に出されるものだ。日本では過去に数回しか例がなく、代表的な例は1941年の太平洋戦争開戦や2011年の福島原子力発電所事故だ。今がそれくらいのものであるということには心止めをおきたい。▼広島で2回目のワクチン接種を終えた人は、65歳以上で約89%、全体では48%だという(9月10日時点)。よい兆しではあるが、最近「接種をしたから」という理由で感染防止がいよいよ加減になる人もいるという。学校生活の中でできるコロナ対策を今一度意識し、一人ひとりがお手本になるような高い意識を持つことが大切ではないだろうか。(谷本惟斗)